

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
島田市	島田市	平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	平成 28 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目 標※3	
総人口	100,646	93,613	96,769	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	8,638	9,800	9,152	93.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8.6%	10.5%	9.5%	47.4%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0%	0%	0%	0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	43,881	58,894	58,290	99.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	43.6%	62.9%	60.2%	86.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	48,127	24,919	29,327	117.7%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	生活排水に係る意識啓発	島田市	広報活動	平成 28 年度～ 令和 2 年度	・市のホームページ、広報、イベント等で、補助金の周知や事業紹介を実施。
処理体制の構築、変更に関するもの		生活排水処理の現状と今後 今後の処理体制	島田市	合併処理浄化槽の普及 下水道施設の整備 汚泥再生処理センターの整備	平成 28 年度～ 令和 2 年度	・市のホームページ、広報誌にて、補助金の周知や事業紹介を実施。 ・汚泥再生処理センターの整備を実施。 ・脱水汚泥を助燃剤化、市の焼却施設で有効利用。
処理施設の整備に関するもの	1	廃棄物処理施設	島田市	汚泥再生処理センター クリーンセンター整備事業	平成 30 年度～ 令和 2 年度	・平成 30 年度～令和 2 年度において、汚泥再生処理センター施設として整備を実施。焼却炉の撤去、脱水機の更新等を行い、処理能力 110 kℓ/日から 152 kℓ/日へ。脱水汚泥を助燃剤化、市の焼却施設で有効利用。
	2	合併処理浄化槽の整備	島田市	浄化槽設置整備事業	平成 28 年度～ 令和 2 年度	・浄化槽の設置補助基数は 5 年間で 1,966 基(うち単独付替 351 基)。総事業費は、562,180 千円。合併処理浄化槽の普及率は、平成 26 年度の 43.6%から令和 3 年度は 60.2%まで増加。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	計画支援事業	島田市	汚泥再生処理センター基本設計 生活環境影響評価 工事発注支援	平成 28 年度 平成 28 年度 平成 29 年度	・平成 28 年度基本設計業務委託、生活環境影響評価業務委託を実施。 ・平成 29 年度工事発注支援業務委託を実施
その他		基本計画の進行管理	島田市	島田市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況確認	平成 28 年度～ 令和 2 年度	令和元年度島田市一般廃棄物基本計画を策定。計画期間(令和 2 年度～令和 7 年度)

3 目標の達成状況に関する評価

本市は、循環型社会形成推進地域計画において、生活排水の未処理人口を平成 26 年度 48,127 人から令和 3 年度の目標として 24,919 人まで減少させることを目標として、合併処理浄化槽の整備などを進めてきた。

生活排水処理について、公共下水道については、目標を下回っているが、合併処理浄化槽の衛生処理については、目標に近い成果を上げている。なお、数値目標の達成状況については、以下のとおり評価している。

公共下水道

令和 3 年度の公共下水道人口普及率は、9.5%であり、目標値 10.5%から 1.0%下回っている。

合併処理浄化槽

令和 3 年度の合併処理浄化槽人口普及率は、60.2%であり、目標値 62.9%から 2.7%下回っているが、平成 26 年度より 16.6%増加しており、生活排水処理の改善がみられる。

未処理人口

令和 3 年度の未処理人口は 29,327 人であり、目標値 24,919 人を達成していない。

(都道府県知事の所見)

島田市は、平成 28 年度から令和 2 年度までに実施した、有機性廃棄物リサイクル推進施設汚泥再生処理センター（島田市クリーンセンター）の整備及び浄化槽設置整備事業により、脱水汚泥の有効活用（助燃剤）及び生活排水処理の各施設の普及に取り組んできた。

結果として、脱水汚泥の助燃剤化による当市の焼却施設での有効活用、及び目標値には達していないものの合併処理浄化槽の普及が進んできた。

実績値と目標値とを比較し、乖離が大きい公共下水道については、目標が達成できるよう、更なる原因の究明に努め、引き続き具体的な取組を検討されたい。